

KFD50 (DAC線)

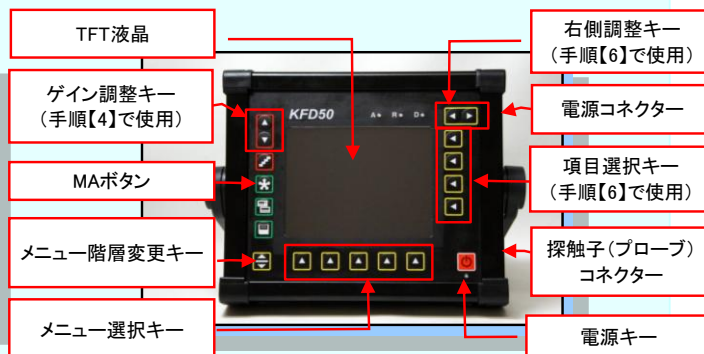
製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法 (RB-41 No.1試験片)



概要

事前の準備

DAC線作成



事前の準備

事前に行う設定

1

- ①入射点の測定
- ②測定範囲の調整
- ③STB屈折角の測定

入射点・測定範囲・屈折角の設定方法は、KFD50(斜角探傷70度)を参照ください。

メニュー構成 (DAC線作成前に確認してください)

□ : 重要度: 高
■ : 重要度: 低

2

<メニュー: 第1階層>

基本	送信部	受信部	ゲート (a)	ゲート (b)
測定範囲	125.0 mm	ダンピング 低	dBステップ 20.0 dB	ゲート評価 正
音速	※	送信出力 高	リジェクト 0%	a起点 80.00mm
ディレイ	0.00 uS	二探触子 オフ	受信周波数 2.0 - 20	a幅 20.00mm
0点調整	※	AGC 80%	波形表示 全波	a高さ 10%
				b高さ 10%

<メニュー: 第2階層>

校正	JDAC	斜角	保存	データ
基準路程1	100.00 mm	区分線 H	屈折角 ※	保存番号 1
基準路程2	200.00 mm	DAC オフ	入射点 ※	呼出 オフ
a起点	80.00mm	DACエコ 0	スキップ 0	保存 オフ
校正	オフ	a起点 80.00mm	板厚 19.00mm	削除 オフ
		感度調整 0.0 dB	外径 平面	全削除 オフ
		区分幅 6.0 dB		

<メニュー: 第3階層>

設定1	表示値	LCD	設定2	設定3
ビーム路程	ピーク	表示位置 1 Sa	強調表示 オフ	言語 日本語
測定値表示	Sa	表示位置 2 Ha%	表示色 1	単位 mm
拡大ゲート	A	表示位置 3 Sb	ライト 0	ブザー オフ
ASコープ	MA表示	表示位置 4 Hb%	グリッド 0	日付
		スケール 測定値	時間	

※音速、0点調整、屈折角、入射点には、「2-1. 事前に行う設定」で求めた数値が入ります。

KFD50(DAC線)

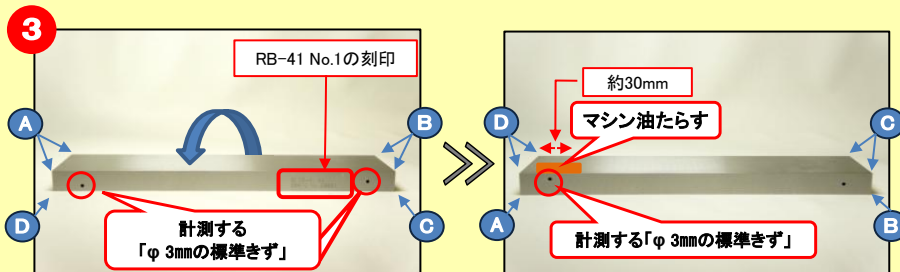
NDT Mart
NDTマート株式会社

製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法(RB-41 No.1試験片)

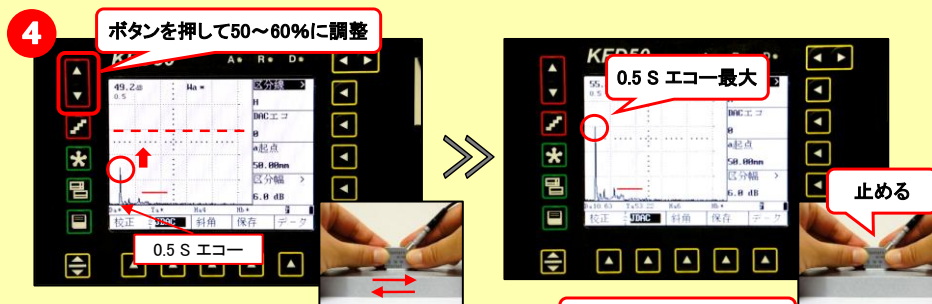
3

DAC線作成

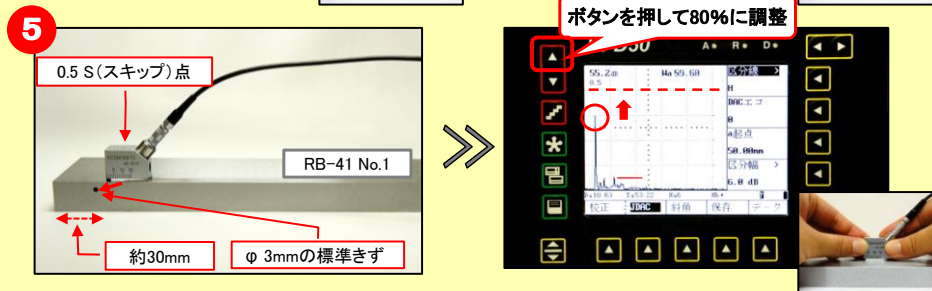
DACエコー 1点目



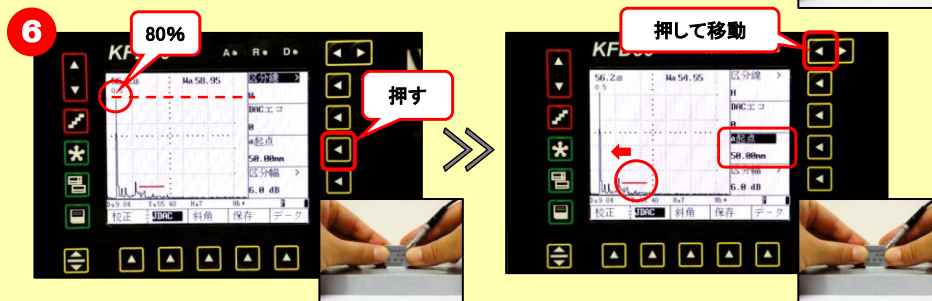
RB-41 No.1のφ 3mmの標準きずを使用してDAC線を作成する。DAC線作成前に標準きずの位置を確認しておく。
φ 3mmの標準きず(2箇所)を0.5S(スキップ)点、1.0S点、1.5S点の計6点で探傷する。
【図を参照してRB-41 No.1試験片を裏返す】
左から約30mmの位置にマシン油を塗布する。



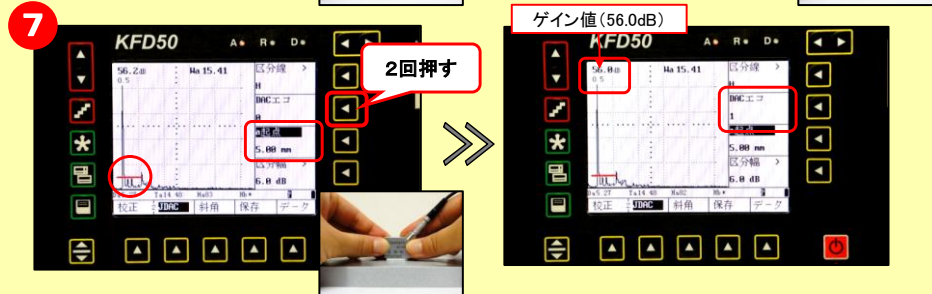
マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、0.5Sエコーが表示される位置を探す。
エコーが現れたことを確認し、左上の「0」キーを押し、0.5Sエコー高さを50~60%に調整する。
更に前後走査、左右走査、首振り走査を行い、最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。



左上の「0」キーを押し、エコー高さを80%の高さに調整する。



項目選択キーの「a起点」キーを1回押す。「0」キーでゲートを0.5Sエコーに移動する。



「DACエコー」キーを2回押す。
0.5Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「0」から「1」へと表示が切り替わる。

※この時に表示されているゲイン値(今回の例では56.0dB)が、基準のゲイン値となるので、メモを取る。

KFD50(DAC線)

NDT Mart
NDTマート株式会社

製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法(RB-41 No.1試験片)

3

DAC線作成

DACエコー 2点目

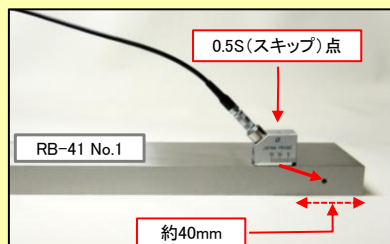
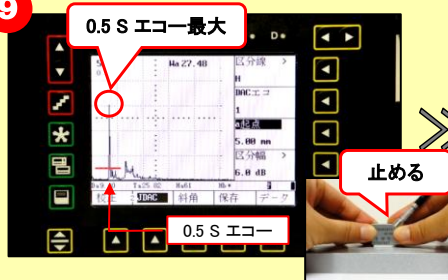
8



図を参照してRB-41 No.1試験片を、右から約40mmの位置にマシン油を塗布する。

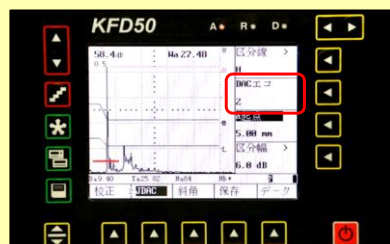
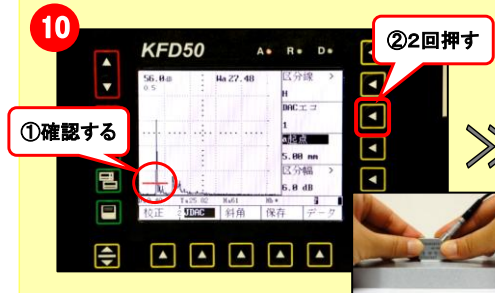
マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、0.5Sエコーが表示される位置を探す。

9



エコーが現れたことを確認し、前後走査、左右走査、首振り走査を行い、0.5Sエコーの最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。

10

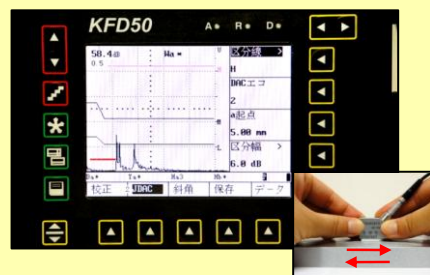


①0.5Sエコーがゲート内にある事を確認する。※エコーがゲートにかかっていない場合は、「」キーでゲートを0.5Sエコーに移動する。

②「DACエコー 」キーを2回押す。0.5Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「1」から「2」へと表示が切り替わる。

DACエコー 3点目

11

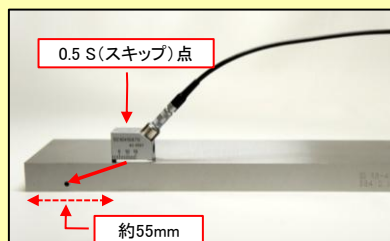
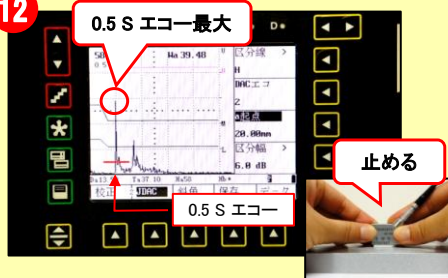


【図を参照してRB-41 No.1試験片を裏返す】

左から約55mmの位置にマシン油を塗布する。

マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、0.5Sエコーが表示される位置を探す。

12



エコーが現れたことを確認し、前後走査、左右走査、首振り走査を行い、0.5Sエコーの最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。

KFD50(DAC線)

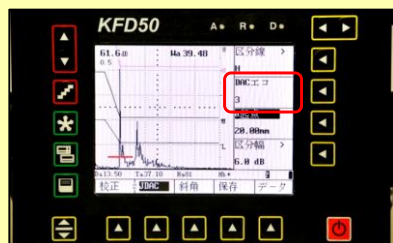
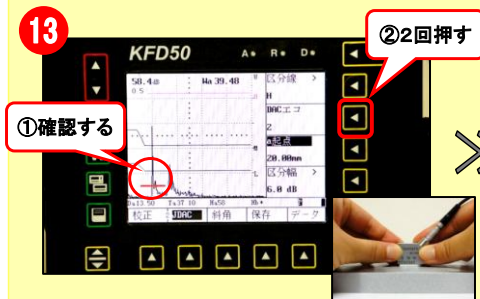
NDT Mart
NDTマート株式会社

製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法(RB-41 No.1試験片)



DAC線作成

13

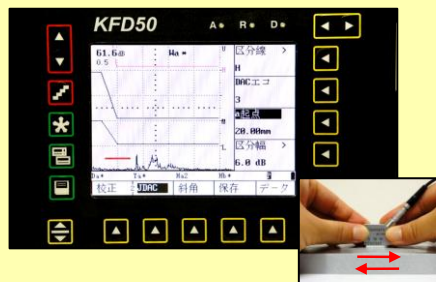
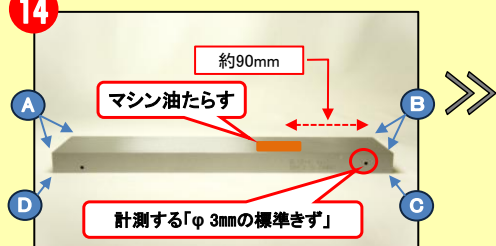


①0.5Sエコーがゲート内にある事を確認する。※エコーがゲートにかかっていない場合は、「」キーでゲートを0.5Sエコーに移動する。

②「DACエコー 」キーを2回押す。0.5Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「2」から「3」へと表示が切り替わる。

DACエコー 4点目

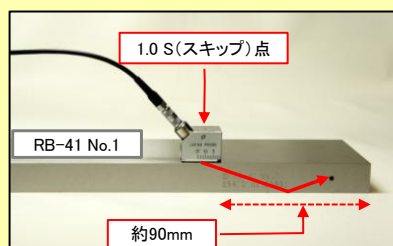
14



図を参照してRB-41 No.1試験片を、右から約90mmの位置にマシン油を塗布する。

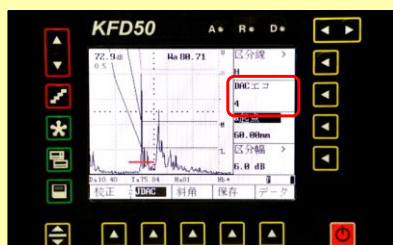
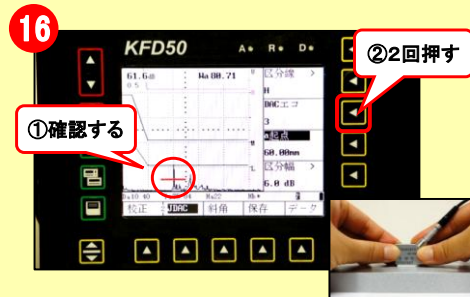
マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、1.0Sエコーが表示される位置を探す。

15



エコーが現れたことを確認し、前後走査、左右走査、首振り走査を行い、1.0Sエコーの最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。

16



①1.0Sエコーがゲート内にある事を確認する。※エコーがゲートにかかっていない場合は、「」キーでゲートを1.0Sエコーに移動する。

②「DACエコー 」キーを2回押す。1.0Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「3」から「4」へと表示が切り替わる。

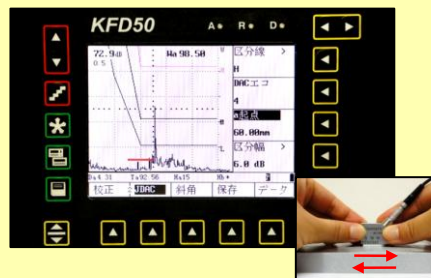
KFD50 (DAC線)

製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法 (RB-41 No.1試験片)



DAC線作成

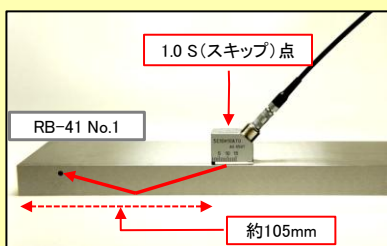
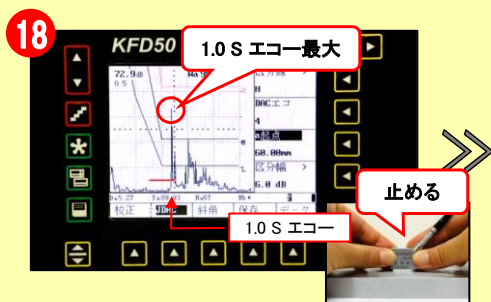
DACエコー 5点目



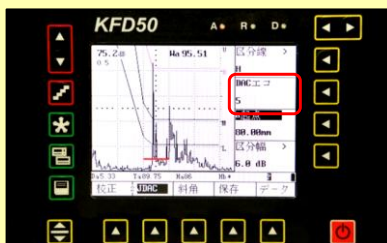
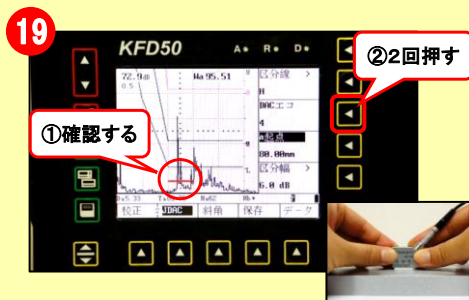
【図を参照してRB-41 No.1試験片を裏返す】

左から約105mmの位置にマシン油を塗布する。

マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、1.0Sエコーが表示される位置を探す。



エコーが現れたことを確認し、前後走査、左右走査、首振り走査を行い、1.0Sエコーの最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。



①1.0Sエコーがゲート内にある事を確認する。※エコーがゲートにかかっていない場合は、「」キーでゲートを1.0Sエコーに移動する。

②「DACエコー 」キーを2回押す。1.0Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「4」から「5」へと表示が切り替わる。

KFD50 (DAC線)

NDT Mart
NDTマート株式会社

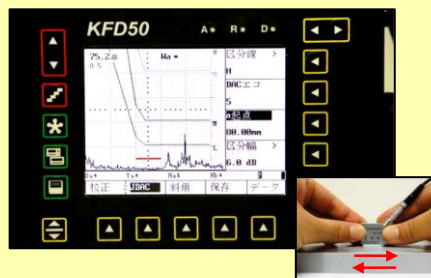
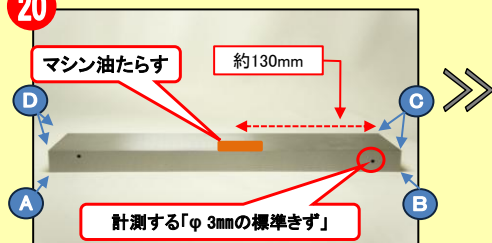
製品案内 超音波探傷器 簡易取扱説明書 DAC線の作成方法 (RB-41 No.1試験片)

3

DAC線作成

DACエコー 6点目

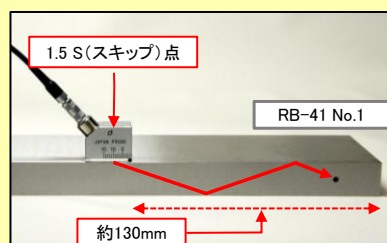
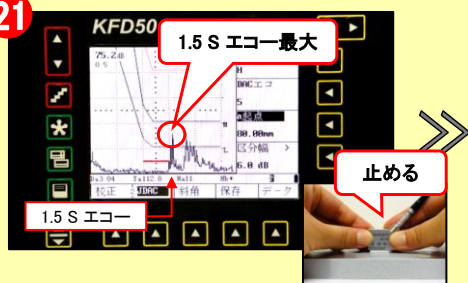
20



図を参照してRB-41 No.1試験片を、右から約130mmの位置にマシン油を塗布する。

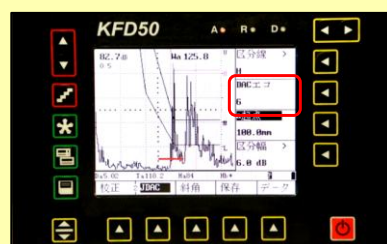
マシン油を塗布した位置に斜角探触子を接触させ、1.5Sエコーが表示される位置を探す。

21



エコーが現れたことを確認し、前後走査、左右走査、首振り走査を行い、1.5Sエコーの最大エコー高さ位置で斜角探触子を止める。

22



①1.5Sエコーがゲート内にある事を確認する。※エコーがゲートにかかっていない場合は、「」キーでゲートを1.5Sエコーに移動する。

②「DACエコー 」キーを2回押す。1.5Sエコーが記録され、DACエコー項目内の数字が「5」から「6」へと表示が切り替わる。

23



「」キーを押し、事前に確認しておいた基準のゲイン値(今回の例では56.0dB)に調整をする。

DAC線の全体図を確認する。